

第2回大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会（小学校・義務教育学校【前期課程】）

第4地区部会 議事要旨

1 日 時 令和5年5月25日（木）午後2時20分～午後3時30分

2 会 場 大阪市教育センター 研修室7

3 出席者

（委員）

岡崎委員、檜原委員、芝谷委員、塩屋委員、高尾委員、三根生委員、中道委員

（事務局）

徳元首席指導主事、彦根総括指導主事、島原総括指導主事、奥指導主事、畑澤指導主事

4 議 題

（1） 地区部会長の選出について

（2） 調査の観点の重点化について

5 議事要旨

（1） 委員の互選により、中道委員が部会長に選出された。

（2） 事務局より、採択地区の現状、調査の観点の重点化について説明を行った。議論の結果、書写については項目3－②から項目4－③に修正を行い、その他の種目については案のとおり了承された。

- ・ 第4地区の重点化した観点を、全種目共通で1－③、2－④、4－①とし、項目2について、算数は①、国語、理科、生活、図画工作、保健、英語、道徳は②、書写、社会、地図、音楽、家庭は③とし、項目3について、国語、社会、地図、算数、理科、保健は②、生活、音楽、図画工作、家庭、英語は③、道徳は④とし、書写は項目4について③を追加した。

（3） 意見等の概要は以下のとおり

【書写】

- ・ 項目3－②について、第4地区の現状を踏まえ、ユニバーサルデザインの視点を重視した項目4－③に修正してはどうか。
→議論の結果を踏まえ、書写については項目3－②を項目4－③に修正する。
- ・ 外国にルーツがある児童が増加しているとのことだが、現在どのような対応を行っているか。
→初期対応プログラムに沿って対応しており、日本語指導センターとの連携や各校での日本語指導等の対応を行っており、ユニバーサルデザインの視点が重要であると考えている。
- ・ 重点化する観点は、地区ごとに設定していくのか。
→地区の現状と課題に合わせて、地区ごとに設定していく。
- ・ 主体的な学びや体験活動、家庭や地域社会との連携について、どのように考えているか。
→主体的・対話的で深い学びの実現は重要であると考えており、学習の中に取り入れ、読解力向上の取組を進めている。また、体験活動や地域社会との連携も同様に重要であると考

えている。各調査会説明会で、委員からの意見として伝えていく。

- ・ 個別最適な学びと協働的な学びについて、どのように考えているか。

→GIGA スクール構想の実現に向け児童に配付されている 1 人 1 台端末を活用し、多様な学びを進めていく。

(4) 今後の流れ

- ・ 決定した調査の観点の重点化について、専門調査会と学校調査会に共有し、調査研究を行う。
- ・ 各調査研究の結果を、次回、7 月 3 日（月）の第 3 回選定委員会地区部会で審議する。

6 会議資料

- (1) 令和 6 年度使用教科用図書『調査の観点（小学校・義務教育学校【前期課程】）用』